

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	総務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	一般会計	4	款	1	項	1
事業名称	総務費					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,227,929			30		1,227,899
補助事業 単独事業						0
令和3年度	1,219,027			30		1,218,997
増△減	8,902	0	0	0	0	8,902

歳出	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計
予算	1,221,575	1,221,545	2,443,120	1,249,618	1,249,588	2,499,206	1,219,027	1,218,997	2,438,024
決算	1,195,877	1,195,854	2,391,731	1,242,902	1,242,880	2,485,782	1,237,286	1,237,264	2,474,550

事業概要	文化観光局の事業執行を円滑に推進するため、市会等各種団体・機関との連絡調整及び事務管理並びに人材育成にかかる各種研修等を実施する							
事業開始年度	平成23年度							
根拠法令・方針決裁等	-							
事業目的・効果 (必要性)	(1) 市会関係 (2) 予算・決算等関係 (3) 庁舎管理 (4) 各種研修 等							
根拠・データ等	-							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
-	単位	目標	-	-	-	-	-	-
		実績	-	-				
-	単位	目標	-	-	-	-	-	-
		実績	-	-				
-	単位	目標	-	-	-	-	-	-
		実績	-	-				
事業スケジュール	-							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	職員人件費	1,215,034	1,206,132	8,902
②	嘱託員人件費	8,540	8,540	0	
③	一般事務費	3,355	3,355	0	
④	人材育成費	1,000	1,000	0	
⑤				0	
⑥				0	
⑦				0	
⑧				0	
⑨				0	
⑩				0	
	細事業合計	1,227,929	1,219,027	8,902	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	経理係
	山下 朋美	川口 真慈	船木 美希

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	企画課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	2
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	一般会計	4	款	1	項	1
事業名称	シティプロモーション事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	61,405					61,405
補助事業 単独事業						0
令和3年度	72,202					72,202
増△減	△ 10,797	0	0	0	0	△ 10,797

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算 事業費	85,824	121,248	95,680
市債+一般財源	85,824	121,248	95,680
決算 事業費	83,281	117,766	62,616
市債+一般財源	83,281	117,766	62,616

令和5年度	令和6年度	令和7年度
61,405	61,405	61,405
61,405	61,405	61,405

事業概要	都市ブランドを向上させるため、様々なメディアを活用したシティプロモーションを実施します。 また、プロモーションノウハウの蓄積・共有化を進めるとともに、庁内各部署からの事業プロモーションに対する相談対応・コンサルティングを行うことで、市全体のプロモーション力アップを図ります。								
事業開始年度	平成24年度								
根拠法令・方針決裁等									
事業目的・効果 (必要性)	今後、都市間競争が激しくなる中、選ばれる都市であり続け、賑わいと活力を持続させていくために、都市の認知度やブランドイメージを向上させる必要があります。 コロナ禍において、プロモーション手法のデジタルシフトが加速していることや、情報入手経路におけるデジタル媒体の割合が増えていることを踏まえ、デジタル広告を含む、デジタルメディアを活用した情報発信を行っていきます。 また、市庁舎移転を契機に、デジタルサイネージやプレゼンテーションスペースの活用機会が増えるなど、庁内でもプロモーションの重要性がより認識されるようになり、プロモーションに対する相談対応・コンサルティングを行うことで、職員全体のプロモーション力が向上し、チラシやポスターなどプロモーションツールの質も上がってきています。								
根拠・データ等	【インターネット広告費構成比（電通「2020年日本の広告費」より）】 <実績推移>元年度：30.3% 2年度：36.2% 【市内プロモーション・デザイン相談件数】 <実績推移>元年度：57件 2年度：105件 【デジタルサイネージデザイン協議件数】 <実績推移>元年度：- 2年度：113件 【SNS 国内月間アクティブユーザー数】 <実績推移>元年度（最終公表年度）：フェイスブック2,600万人、インスタグラム3,300万人								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
ブランドエッセンススコア	単位	目標	-	-	103.2	108.2	113.2	118.2	123.2
	pt	実績	-	-					
プロモ相談・デザイン協議件数	単位	目標	-	-	220	220	220	220	220
	件	実績	-	218					
SNSフォロワー数	単位	目標	75,000	95,000	114,000	132,000	150,000	168,000	186,000
	人	実績	77,277	96,169					
事業スケジュール	平成24年度：事業開始 平成27年度：フェイスブック運用開始 平成28年度：インスタグラム運用開始 令和4年度：ブランドウェブサイト運用開始予定								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
		① 都市ブランド向上に向けたプロモーション	43,500	49,647	▲ 6,147
② インターナルブランディング	1,905	6,555	▲ 4,650	プロモーションツール作成費の減	
③ SNSを活用したプロモーション	16,000	16,000	0		
細事業合計		61,405	72,202	▲ 10,797	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	林 豪	守屋 朋廣	本田 由香里

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	企画課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費	<input checked="" type="checkbox"/> その他				
歳出予算科目	一般会計	4	款	1	項	1 目
事業名称	調査分析事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	10,264					10,264
補助事業 単独事業						0
令和3年度	10,264					10,264
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算 事業費	12,076	10,264	10,264
市債+一般財源	12,076	10,264	10,264
決算 事業費	11,843	11,135	6,705
市債+一般財源	11,843	11,135	6,705

令和5年度	令和6年度	令和7年度
10,264	10,264	10,264
10,264	10,264	10,264

事業概要	文化芸術創造都市・観光MICE施策のPDCAサイクルを回すために必要な情報収集や調査分析を行います。							
事業開始年度	平成24年度							
根拠法令・方針決裁等	-							
事業目的・効果 (必要性)	市内の賑わい形成、経済の活性化につながるプロモーションを戦略的・効果的に実施するための現状把握や、施策・事業効果を検証する継続的な調査等を実施し、施策・事業立案のための基礎資料とすることを目的としています。 また、文化芸術創造都市・観光MICEに関するデータを蓄積し、施策のPDCAを回します。							
根拠・データ等	【調査実績】 R2：国内における経年傾向の調査 R3：国内における経年傾向の調査、横浜が目指す都市のブランドイメージの浸透度のトライアル調査 R元：国内における経年傾向の調査、横浜の文化芸術の意識・活動に関する調査、SNS分析による滞在実態調査 H30：国内における経年傾向の調査、海外調査（韓国・台湾） 東京2020オリンピック・パラリンピックや横浜開催競技への関心度、横浜への来訪意向等の把握 H29：国内における経年傾向の調査、ラグビー等に関する関心度や横浜決勝開催認知等の把握、海外調査（オーストラリア）							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
政策立案等に 利用した事業 数	単位	目標	-	-	5	5	5	5
	件	実績	4	5				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	平成24年度：事業開始 平成26年度：アニュアルレポートの作成開始							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	データの収集・環境分析	9,464	9,264	200	デスクリサーチツールの導入による増
	②	アニュアルレポートの作成	800	1,000	▲200	英語版作成見直しによる減
細事業合計			10,264	10,264	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	貝田 泰史	佐伯 哲郎	森田 舞

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	企画課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
歳出予算科目	一般会計	4 款	1 項	1 目	
事業名称	開港記念式典開催事業				

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	5,680					5,680
補助事業						0
単独事業						0
令和3年度	4,680					4,680
増△減	1,000	0	0	0	0	1,000

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算	事業費	4,680	4,680	4,680
	市債+一般財源	4,680	4,680	4,680
決算	事業費	5,063	5,081	1,175
	市債+一般財源	5,063	5,081	1,175

令和5年度	令和6年度	令和7年度
4,680	4,680	4,680
4,680	4,680	4,680

事業概要	開港記念日（6月2日）に市民と市政関係者がともに、横浜港の歴史と先人の業績に敬意を表し開港を祝う式典を開催する。							
事業開始年度	昭和54年度							
根拠法令・方針決裁等								
事業目的・効果 (必要性)	市民や関係団体とともに、横浜港の歴史と先人の業績に敬意を表すとともに開港を祝い、シビックプライドを醸成、これからの横浜の発展を願う場として、式典と記念コンサート開催する。 横浜市が直接記念式典を実施し、市民に一体感を感じさせる満足度の高い内容を企画することにより、シビックプライドの醸成につなげる。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 一般招待者抽選倍率 <実績推移>29年度4.50倍、30年度4.22倍、元年度4.67倍、2年度 中止、3年度5.77倍 ※募集人数は、令和2年度まで1,000人、令和3年は500人。 来場理由（3年度アンケート結果より） 「記念コンサートの出演者に興味があったから」42%、「式典で開港をお祝いしたかったから」29% 次回に期待する内容（3年度アンケートより） 「記念式典とコンサート」70% 							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
式典満足度	単位	目標	-	-	87	87	87	87
	%	実績	86.6	中止				
記念コンサート満足度	単位	目標	-	-	85	85	85	85
	%	実績	82.8	中止				
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	昭和54年度：秘書課にて事業開始 平成25年度：事務移管により、文化観光局にて事業開始							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	開港記念式典開催事業	5,680	4,680	1,000	感染防止策の徹底に向けた対応に伴う増
	細事業合計	5,680	4,680	1,000		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	貝田 泰史	佐伯 哲郎	森田 舞

令和 4年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	企画課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
歳出予算科目	一般会計	4 款	1 項	1 目	
事業名称	フィルムコミッション事業				

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	雑入	市債	一般財源
令和4年度	15,738	0			36		15,702
補助事業	0						0
単独事業	0						0
令和3年度	11,264				25		11,239
増△減	4,474	0	0	0	11	0	4,463

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	11,579	11,264	11,264	15,738	15,738	15,738
	市債+一般財源	11,554	11,239	11,239	15,702	15,702	15,702
決算	事業費	10,834	10,333	9,428			
	市債+一般財源	10,810	10,309	9,405			

事業概要	シティセールス、プロモーション等に寄与する映像作品のロケ支援及び受入の環境整備を行います。							
事業開始年度	平成22年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜フィルムコミッション事業実施要綱							
事業目的・効果 (必要性)	様々な映像・出版制作に係る相談対応・撮影支援や撮影の受入れ環境を整えることにより横浜が映像として露出する機会を増やすことで、国内外へのシティプロモーションに寄与すると同時に、舞台となる地元地域の活性化や観光客の増加など経済的な効果があります。また、支援作品とのタイアップによる事業等のPRを行うことでより効果的なシティプロモーションに繋がります。							
根拠・データ等	令和2年度主な支援作品 ①映画 「きみの瞳(め)が問いかけている」、「さんかく窓の外側は夜」、「花束みたいな恋をした」 ②テレビドラマ 「私の家政夫ナギサさん」、「#リモラブ～普通の恋は邪道～」、「監察医 朝顔」、「逃げるは恥だが役に立つ ガンバレ人類！新春スペシャル!!」、「教場II」前編・後編、「天国と地獄 ～サイコな二人～」、「レッドアイズ 監視捜査班」 ③情報番組・特別番組等 「新美の巨人たち」『横浜三塔物語』×要潤…港町を支え続けた復興の灯、海に浮かぶ重要文化財『日本郵船氷川丸』×要潤、「YUZU ONLINE TOUR 2020 AGAIN」オンライン配信ライブ、「ふらっとあの街 旅ラン10キロ『きらり★横浜ナイトラン』」							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
相談件数	単位	目標	600	600	600	700	700	700
	件	実績	649	708				
支援件数	単位	目標	60	60	60	70	70	70
	件	実績	65	55				
タイアップ	単位	目標	1	1	1	1	1	1
	件	実績	1	1				
事業スケジュール	平成22年度 事業開始（平成12年度から平成21年度までは、（公財）横浜観光コンベンション・ビューローで実施）							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	会計年度任用職員人件費	14,225	9,484	4,741	人員体制の変更による増
②	事業費(タイアップ等)	1,513	1,780	▲267	手法の見直しによる減	
細事業合計		15,738	11,264	4,474		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	林 豪	守屋 朋廣	東 美佑